

## もくじ

- ・ ホレおばさん

# ホレおばさん

げんさく： グリムどうわ

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう： イエローボードプロジェクト



むかし むかし、とある くにの  
ちいさな まちに、ははおやと、  
ふたりの むすめが すんでいました。

あねの『マリー』は、とても うつくしくて、  
はたらきものでしたが、いもうとの『ローズ』は、  
たいへんな なまけものでした。

けれども ははおやは、いもうとの  
ローズばかりを かわいがっていました。  
というのも、このははおやは、  
びょうきで なくなった マリーのちちおやの  
さいこんあいてで、ローズは そのははおやの  
つれごだったからです。

ははおやと ローズは、いえのしごとを  
すべて マリーに おしつけていました。  
そうじに せんたく、しょくじのようい、  
かちくのせわまで。

そのひ、マリーは にわの いどのまえで、  
あらいものをしていました。

マリーが しごとで つかっている  
『いとまきぼう』を あらおうとしたとき、  
つい てをすべらせて、いとまきぼうを  
いどのなかに おとしてしまったのです。





5

「たいへん！ どうしましょう、あれをなくしたら、  
おかあさまに しかられてしまうわ・・・」

マリーは いどのなかを のぞきこみました。  
いどのそこは まっくらで、なにもみえません。  
マリーは いとまきぼうを ひろいに、  
いどのそこに おりていきました。

「まあ、信じられない・・・  
これはいったい どういうこと!？」

なんと いどのそこは、  
ふしぎなせかいに つながっていました。

マリーが たっているのは、あたりいちめん、  
きれいなはなが さきみだれる、  
ひろい のはらでした。  
ときおりふく さわやかな かぜが、  
マリーのほほを やさしく なでました。

「えっと、どうしましょう・・・とりあえず、  
いとまきぼうを さがさなくちゃ」

